

## 南臺科技大學 107 學年度第 2 學期課程資訊

|                |  |
|----------------|--|
| 課程代碼           | E0D36101   |
| 課程中文名稱         | 日本經貿(二)(日文)  |
| 課程英文名稱         | Japanese Economy and Trade   |
| 學分數            | 2.0  |
| 必選修            | 選修   |
| 開課班級           | 四技日語三甲 四技日語三乙  |
| 任課教師           | 村越真紀   |
| 上課教室(時間)       | 週四第 3 節(N408)<br>週四第 4 節(N408)   |
| 課程時數           | 2  |
| 實習時數           | 0  |
| 授課語言 1         | 日語   |
| 授課語言 2         |  |
| 輔導考照 1         |  |
| 輔導考照 2         |  |
| 課程概述           | この授業では、戦後の日本経済史を概観し、現在の日本の経済システムがどのように形成されてきたのかを見ていきます。また、同時に経済特有の言い回しや表現、専門用語（例えば、貿易や為替で使う言葉など）を勉強します。  |
| 先修科目或預備能力      |  |
| 課程學習目標與核心能力之對應 | <p>※編號 , 中文課程學習目標 , 英文課程學習目標 , 對應系指標</p> <hr/> <p>1. 戦後の日本経済史を大まかに理解し、日本社会について主に経済の面から理解できるようになる。 ,-- ,9 適應社會<br/>     2. 経済特有の単語や表現、言い回しを習得する。 ,-- ,1 日語應用<br/>     3.</p> <p>戦後の日本企業の歩みを概観することによって、日本企業における習慣や考え方などを理解できるようになる。 ,-- ,7 企業倫理<br/>     4. グラフや表の説明につかう表現などを習得する。 ,-- ,4 報告溝通</p> |
| 中文課程大綱         | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 戦後の日本経済             <ul style="list-style-type: none"> <li>1 : 後期高度成長期</li> <li>2 : 石油危機以降</li> <li>3 : 構造調整の時代</li> <li>4 : バブル崩壊と失われた 10 年</li> </ul> </li> </ul>   |

|           |  |
|-----------|--|
| 英/日文課程大綱  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後の日本経済           <ul style="list-style-type: none"> <li>1 : 後期高度成長期</li> <li>2 : 石油危機以降</li> <li>3 : 構造調整の時代</li> <li>4 : バブル崩壊と失われた 10 年</li> </ul> </li> </ul>  |
| 課程進度表     | <p>授業は概ね以下のように進める予定ですが、諸般の事情により変更することがあります。ご了承ください。</p> <p>第 1 週：ガイダンス、第 1 学期の簡単な復習<br/>     第 2~8 週：安定成長期、バブル期、バブル崩壊<br/>     第 9 週：期中考査（筆記テスト）<br/>     第 10 週：期中考査解説、失われた 20 年<br/>     第 11~17 週：失われた 20 年<br/>     第 18 週：期末考査（筆記テスト）</p>                                     |
| 教學方式與評量方法 | <p>※課程學習目標，教學方式，評量方式</p> <p>-----</p> <p>戦後の日本経済史を大まかに理解し、日本社会について主に経済の面から理解できるようになる。 , 課堂講授，日常表現筆試筆試<br/>     経済特有の単語や表現、言い回しを習得する。 , 課堂講授，日常表現筆試筆試</p> <p>戦後の日本企業の歩みを概観することによって、日本企業における習慣や考え方などを理解できるようになる。 , 課堂講授，日常表現筆試筆試<br/>     グラフや表の説明につかう表現などを習得する。 , 課堂講授，日常表現筆試筆試</p> |
| 指定用書      | <p>書名：<br/>     作者：<br/>     書局：<br/>     年份：<br/>     ISBN：<br/>     版本：</p>  |
| 参考書籍      |  |
| 教學軟體      |  |
| 課程規範      | <p>第 1 週のガイダンスには必ず出席してください。<br/>     出席を重視します。休まないようにしてください。遅刻と欠席は平常点から減点します。<br/>     この授業では、病假と曠課を区別しません。病気なつたり怪我をしないよ</p>   |

うに注意してください。  
公欠（公假）や忌引き（喪假）などは、きちんと手続きしてください。  
(社会人になったら、自己管理は大変重要です。今から気をつけてください。)  
教科書は使いません。プリントを配布しますので、毎回かならず持ってきてください。